

2012年第3問

- 3 空間に4点O, A, B, Cがあり、次の条件を満たすものとする。

$$OA = 1, OB = 1, OC = 2, \angle AOB = \frac{\pi}{2}, \angle BOC = \frac{\pi}{3}, \angle COA = \frac{\pi}{4}$$

また、 $\overrightarrow{OA} = \vec{a}$, $\overrightarrow{OB} = \vec{b}$, $\overrightarrow{OC} = \vec{c}$ とし、Pは平面OAB上の点で $\overrightarrow{OP} = x\vec{a} + y\vec{b}$ と表されているとする。点Pが $|\overrightarrow{OP}| = 1$ を満たして動くとき、以下の問いに答えよ。

- (1) 点Cから平面OABに下ろした垂線と平面OABの交点をQとする。したがって、 $CQ \perp OA$, $CQ \perp OB$ である。 $\overrightarrow{OQ} = u\vec{a} + v\vec{b}$ と表したとき、u, vを求めよ。
- (2) (i) 内積 $\overrightarrow{OP} \cdot \overrightarrow{OC}$ の最大値と最小値を求めよ。また、最大値をとるときのx, yの値、最小値をとるときのx, yの値をそれぞれ求めよ。
(ii) \overrightarrow{OP} と \overrightarrow{OC} のなす角θがとりうる値の範囲を求めよ。ただし、 $0 \leq \theta \leq \pi$ とする。
- (3) 内積 $\overrightarrow{OP} \cdot \overrightarrow{OC}$ が最大値、最小値をとるときの点PをそれぞれP₁, P₂とおく。点P₁, P₂はいずれも直線OQ上にあることを示せ。ただし、Qは(1)で定めた点とする。